

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年10月9日 No.83

ドゥアルテ上級代表に「すみやか」署名提出

日本原水協国連要請代表団は8日、ニューヨークの国連事務局内で、セルジオ・ドゥアルテ国連軍縮問題上級代表とマルコ・アントニオ・スアソ第一委員会議長(ホンデュラス国連常駐次席代表)に面会し、自治体首長分を含む223万8389人の「すみやかな核兵器の廃絶のために」署名(目録)を提出しました。ドゥアルテ氏は核兵器廃絶のための市民社会の役割の重要性を強調し、署名提出と原水協の活動に感謝。スアソ氏は「国連総会第一委員会を代表して署名を受け取ります」と述べ、「草の根での活動は私たち外交の努力と国連事務局の活動を強めてくれています」と感謝を表明しました。



ドゥアルテ上級代表(中央)に「すみやか」署名を手渡す高草木博・日本原水協事務局長。左端はスアソ第一委員会議長

ドゥアルテ氏は核兵器廃絶のための市民社会の役割の重要性を強調し、署名提出と原水協の活動に感謝。スアソ氏は「国連総会第一委員会を代表して署名を受け取ります」と述べ、「草の根での活動

は私たち外交の努力と国連事務局の活動を強めてくれています」と感謝を表明しました。



メキシコ国連大使がただちに署名

要請団は7日パキスタンと日本、8日メキシコ、マレーシア、カナダの代表部を訪問。メキシコ国連大使のクロード・ヘラー氏は新署名にただちに署名してくれました(左写真)。マレーシアのハミドン・アリ国連大使は、「NPT非加盟国も含む普遍的組織である国連が核兵器廃絶のコンセンサスを作る独自の役割を果たすべき」と要請した代表団に、「まったくそのとおり」と応じ、今総会に提出予定の核兵器禁止条約を求める決議案に関する意見を歓迎しました。1月のマレーシアでの原爆展開催についても、「国内の世論喚起のために重視している」とのことでした。

修学旅行生らが次々と一上野公園6・9行動

日本原水協は9日、日本平和委員会、民青同盟中央委員会、東京原水協などとともに上野公園前で「6・9行動」を行いました。2010年NPT(核不拡散条約)再検討会議に向けて新国際署名「核兵器のない世界」を呼びかけるもの。

観光客や親子連れでにぎわう場所に「原爆と人間展」パネルを並べると、次々と足が止まります「ノーモアヒロシマ・ナガサキ」の声に進んで署名に応じるスペイン人の女性たち(右写真)。広島から修学旅行で来た高校生たちは、「ニューヨークに届けるんですか」と驚きながら「頑張ってください」と激励してくれました。この日は1時間の行動で157筆の署名と8330円の募金が寄せられました。

スペイン人女性たちも署名

